

# 令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：河川砂防課  
 担当名：新河岸川・荒川下流域担当  
 内線：5143 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B20	床上浸水対策事業費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	床上浸水対策事業費	
事業期間	平成29年度～ 令和4年度	根拠法令	河川法第9条、河川法第60条		針路	01	災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	
					分野施策	0103	治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	
1 事業概要 平成28年8月の台風9号と同規模降雨に対して、浸水被害の軽減を図る。  床上浸水対策事業 △180,000千円			5 事業説明 (1) 事業内容 慢性的な床上浸水被害に悩まされている地域において、特に対策を促進する必要がある河川を対象として、重点的・緊急的に対策を講ずることにより、床上浸水の早期解消を図る。 国費の内定に伴う減額補正 △180,000千円  (2) 事業計画 一級河川不老川は、河道が未改修で流下能力不足であることに加え、鉄道橋、道路橋がネック箇所となっており、流域の浸水被害が頻発している。このような状況に対処するため、河道及びネック橋梁の改修を実施し、早期に浸水被害の軽減を図る。  (3) 事業効果 短期間で集中的に整備を行うことによって、早期に床上浸水被害の軽減を図ることができる。						
2 事業主体及び負担区分 床上浸水対策事業費補助金 (国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 公共事業等債 充当率90%(通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分50%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8.1人=76,950千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	県債						
決定額	△180,000	△90,000	△90,000					0	420,000
現計額	600,000	300,000	300,000					0	

## 事業内訳書

事業名	床上浸水対策事業費		
単位事業名	床上浸水対策事業費	予算額	△ 180,000千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△180,000	—	国費の内定に伴う負担金の減
合計	△180,000	—	